SHARP

シャープ石油ストーブ

自然通気形開放式石油ストーブ

型名

エイチ エス アール エル

HSR-30L

取扱説明書

石油ストーブには必ず良質の灯油(JIS 1号灯油)を使いましょう

ストーブが故障したときや、保管、運搬するさいは、必ず灯油を抜き、乾電池を取りはずしてください。

⚠危険



KEROSENE ONLY
ガソリン厳禁

⚠警告



寝るとき消火
給油時消火

⚠注意
変質した持ち越し灯油
使用厳禁

特長

■消火時のニオイを抑える
に・おワン吸臭システム

■広めのお部屋におすすめ
ハイパワー3.02kW
(2600kcal/h)

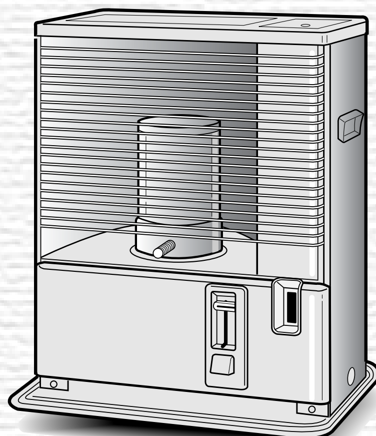
■点火時のニオイ・ススを抑える
静止点火機構

■タンクを抜くと自動消火
給油時自動消火装置

正しく使って上手に節約

もくじ

ページ



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **危険** 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ **警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味


してはいけないことを表しています。


必ず差込プラグをコンセントから抜くことを表しています。


しなければならないことを表しています。

⚠ 危険

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。

火災の原因になります。

灯油(JIS１号灯油)を、必ず使用してください。

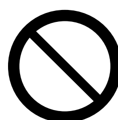


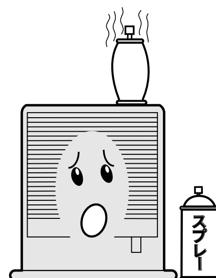
⚠ 警告

スプレー缶厳禁

殺虫剤などのスプレー缶をストーブの上やそばに、絶対に放置しないでください。

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。





⚠ 警告

カーテン、可燃物近接厳禁

- カーテンや燃えやすいもののそばなどでは使わないでください。
- マッチやライター、およびマッチの燃えかすなどを、ストーブの上（しん付近や置台の上など）に置かないでください。

火災の原因になります。



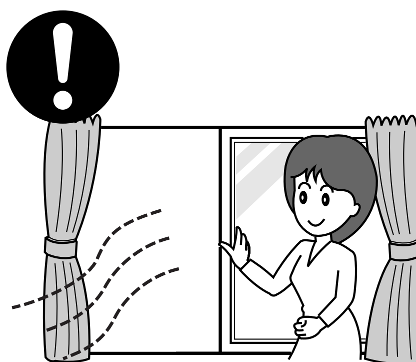
換気必要

換気せずに使用し続けないでください。

酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。

使用中は必ず1時間に1〜2回(1〜2分)換気して、新鮮な空気を補給してください。

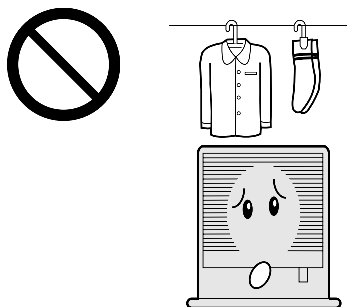
(窓の凍結、地下室など) 換気が十分におこなえない場所では使用しないでください。


1時間に1〜2回 (1〜2分)

衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使わないでください。

衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。

予想しない事故が発生するおそれがあります。



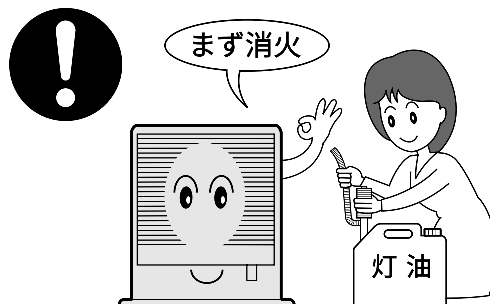
安全のために必ずお守りください

⚠ 警告

給油時消火

給油は、必ず消火してからおこなってください。

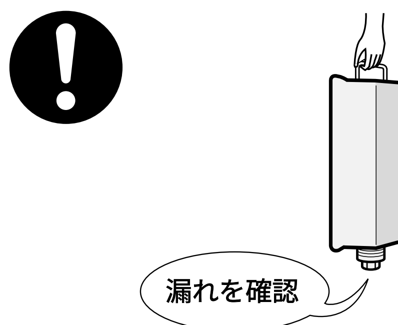
火災の原因になります。



油漏れ危険

給油口口金は、確実に締めてください。
給油口口金を下にして、油漏れがないことを確かめてください。

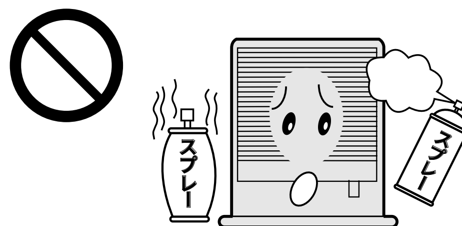
口金を斜めに締めると、簡単に口金がはずれて、火災の原因になります。



可燃性ガス使用厳禁

ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナーなど）や、スプレーを使用しないでください。

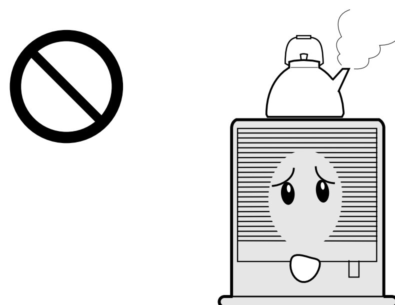
火災や故障の原因になります。



やかんのせ禁止

やかんなどをのせないでください。

振動や接触によってやかんの熱湯がこぼれ、やけどのおそれがあります。



⚠ 注意

居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のない所でおこなってください。

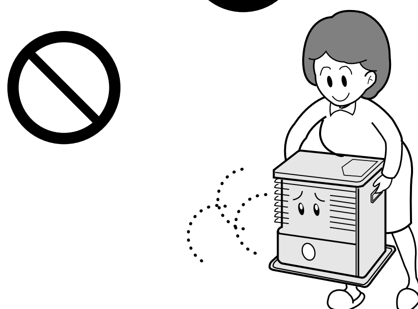
火災のおそれがあります。



燃焼中移動禁止

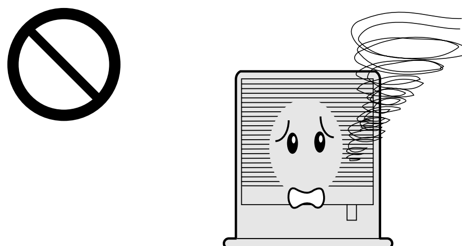
火のついたまま持ち運ばないでください。

やけどのおそれがあります。
また、転倒すると火災の原因になります。



異常時使用禁止

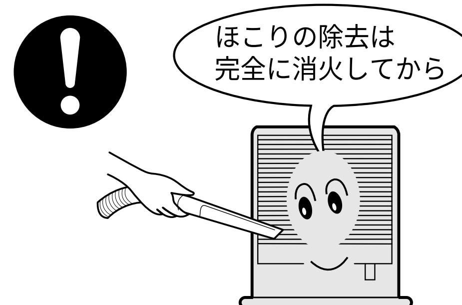
炎の異常や、におい、すすの発生など異常燃焼を起こしたときは使用しないでください。緊急の場合でも、あわてずに消火ボタンを押すか、しん調節つまみを上げて消火してください。



ほこりの除去

ほこりをときどき除去してください。

ゴミ、ほこりなどが詰まると異常燃焼のおそれがあります。



廃棄するときは灯油を抜く

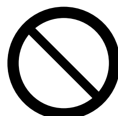


ストーブを廃棄処分するときは、必ず乾電池を取りはずし、給油タンク、燃料タンク内の灯油を、抜き取ってください。乾電池や灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルのさい、思わぬ事故になるおそれがあります。

安全のために必ずお守りください

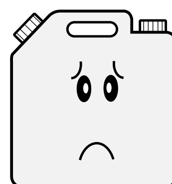
⚠ 注意

変質灯油禁止



変質灯油、不純灯油（汚れた灯油、水の混じっている灯油）などを使用しないでください。

異常燃焼やしんが下がらなくなるおそれがあります。

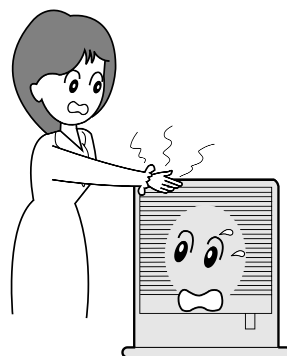


高温部接触禁止

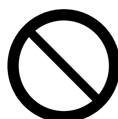


燃焼中や消火してしばらくの間は、ガードや天板付近が高温になっているので、手などをふれないでください。
給油タンクは、冷えてから取り出してください。

やけどのおそれがあります。

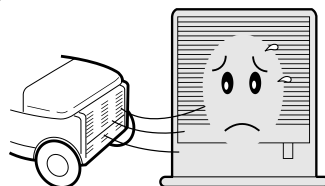


風あて注意



燃焼中に、掃除機の排気などの風を直接あてないでください。

異常燃焼し、火災の原因になります。

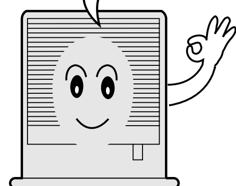


純正部品の使用



しんなどの部品は、必ず純正部品（指定された部品）を使用してください。

予想しない事故が発生するおそれがあります。



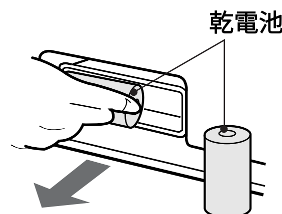
⚠ 注意

保管時にしていただくこと



長期間使用しないとき、保管するとき、または自動車等での運搬時には、必ず灯油を抜いて、乾電池を取りはずしてください。傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。

火災のおそれがあります。

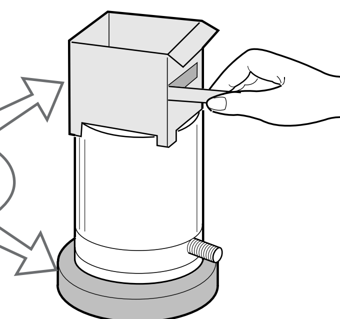


包装部材を取り除く



発泡スチロールや段ボールなどの包装部材を取り付けたまま点火操作をしないでください。

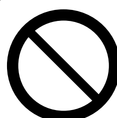
火災の原因になります。



次の場所では使用しない

- 水平でない場所、不安定な場所。
- 風の当たる場所や部屋の出入口、屋外。
- 暖炉や押入れなどストーブが囲われる場所。
- ほこりや湿気の多い場所。
- 不安定な物を乗せた棚などの下。
- 可燃性ガスの発生する場所や、たまる場所。
- 直射日光が当たる場所や湿度の高い場所。
- 人がいない場所(乾燥室、温室、飼育室、養鶏場、養蚕場、養豚場など)
- 理・美容院、クリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所。
- 換気が十分におこなえない場所。

火災や予想しない事故の原因になります。



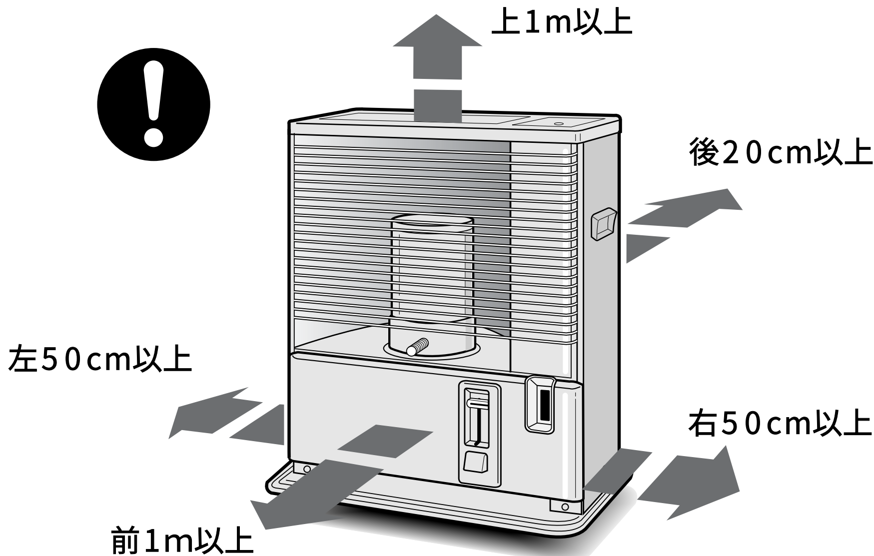


安全のために必ずお守りください

⚠ 注意

可燃物との距離を離す

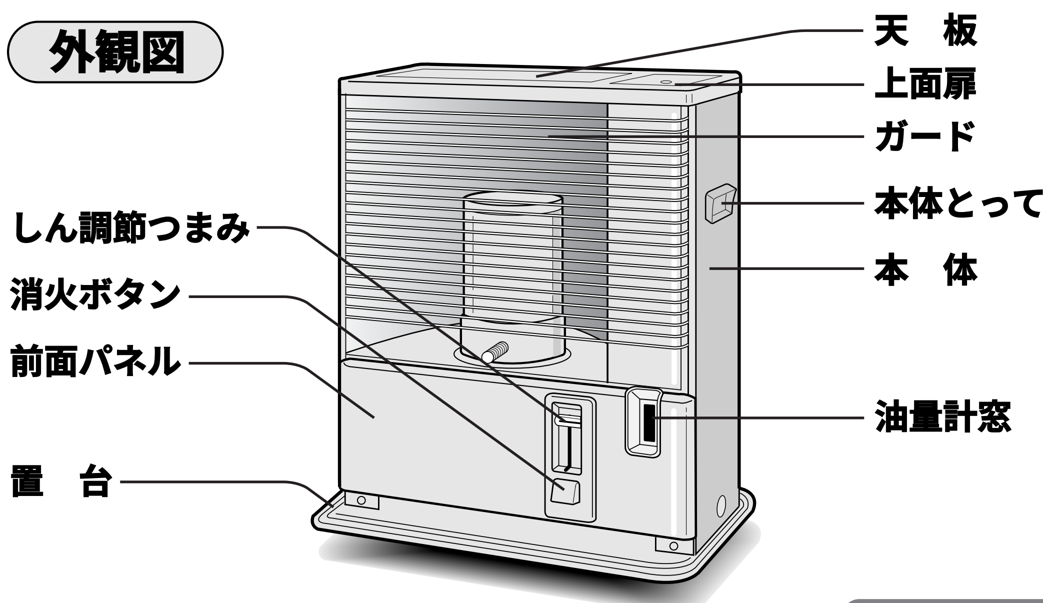
ストーブと障害物や可燃物とは、図に示す距離を守ってください。



水平で丈夫な床面に設置してください。

各部のなまえ

外観図



構造図

燃焼筒
燃焼筒つまみ
しゃ炎板
しん外筒
しん(消耗品)
しん案内筒上板
しん案内筒
しん外筒パッキン
対震自動消火装置

点火ヒータ
(消耗品)
フィラメント
ヒータ電極線

給油タンクとって
給油タンク
油量計
給油口口金
吸臭装置
給油時自動消火装置
燃焼タンク

使用前の準備

□内の数字は、主な説明のあるページを示します。

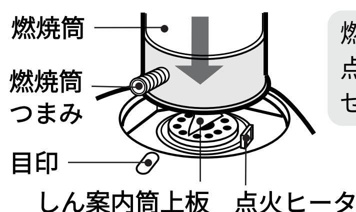
1 ストーブを取り出す

パッキングケースからストーブを取り出し、取扱説明書、包装部材（発泡スチロール、段ボールなど）をすべて取り除いてください。

パッキングケースはストーブの保管箱として保存しておいてください。また、包装部材、取扱説明書も忘れずに保管してください。

2 燃焼筒をセットする

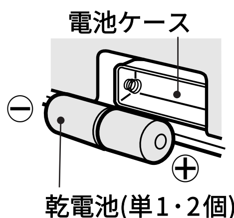
①しんが下がっているか確認してください。
②燃焼筒は燃焼筒つまみを正面に向けて、しん案内筒上板の真上からのせてください。
③燃焼筒つまみを持って左右に動かし、目印の位置で動くことも確認してください。



燃焼筒をのせるとき、点火ヒータを破損させないでください。

3 乾電池を取り付ける

- 乾電池は別売です。新しい単1形の同じ種類のものを2個用意してください。
- 背面下部の電池ケースに乾電池2個を［－ ＋］マークに合わせて取り付けてください。



ご注意

- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の異なる乾電池を、混ぜて使うことはやめてください。(破裂や液漏れの恐れがあります)
- **シーズン初めには新しい乾電池を、お使いください。**

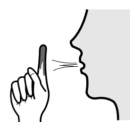
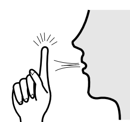
燃　料

●燃料は必ず灯油(JIS 1号灯油)を使用する。

ガソリン、変質灯油、不純灯油(汚れた灯油､水の混じっている灯油など）は絶対に使用しないでください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけて息を吹きかける。
(火の気のない所でおこなってください)

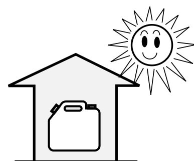
○灯油		濡れたままです。
×ガソリン		すぐ乾きます。

灯油の保管は

灯油は必ず火気、雨水、ごみ、高温および直射日光を避けた場所に保管してください。

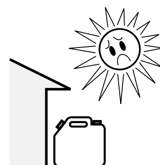
 **良い保管**

直射日光、雨水が当たらず、火気のない冷暗所へ保管。



 **悪い保管**

直射日光、雨水の当たるベランダなどで保管。



●変質灯油とは

- 古い灯油。(ひと夏持ち越した灯油)
- 長期間、日光のあたる所や、温度の高い所に保管した灯油。

変質のひどいものは、黄色味をおびたり、すっぱいにおいがします。

- とくに容器のふたが開けてあったり、乳白色のポリ容器で保管すると、変質しやすくなります。必ず灯油用のポリ容器を、お使いください。



古い灯油は
使わないで

●不純灯油とは

- 灯油以外の油(ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油など)がほんの少しでも混入した灯油。
- 水やごみが混入した灯油。



変質灯油や不純灯油を使うと

- 1～30日で、しんに多量のタールがたまり、しんが下がらなくなったり、すすが出たり、激しいにおい、燃焼筒の赤熱不足、異常燃焼などが起こります。
- 水の混入した灯油を使うと、給油タンクに灯油が残っていても火力が小さくなり、しんが下がらなくなったりするおそれがあります。

⚠ 危険

ガソリンやシンナーなど、揮発性の高いものは使用しない。
火災の原因になります。

万一変質灯油や不純灯油を使ったときの処置のしかた

①給油タンクや燃焼タンクの中の悪い灯油を抜き取り、良質の灯油で内部を２～３回洗ってからお使いください。(悪い油が残っていると、再発します。)

②「しんのお手入れ」(から焼きクリーニング)をしてください。18

③「しんのお手入れ」(から焼きクリーニング)をしても効果のないときは、しんを取り替えてください。
(しんの取り替えは、お買いあげの販売店に依頼してください)



ご注意 変質灯油や不純灯油が原因でサービスを依頼されたときは、保証期間中でも有料となります。

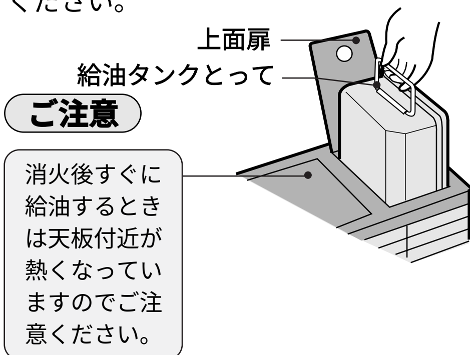
使用前の準備

給　油 (必ず消火してからおこなってください)

1 消火ボタンで消火操作をおこない、消火を確かめる

2 給油タンクを取り出す

給油タンクは冷えてから、取り出してください。



ご注意

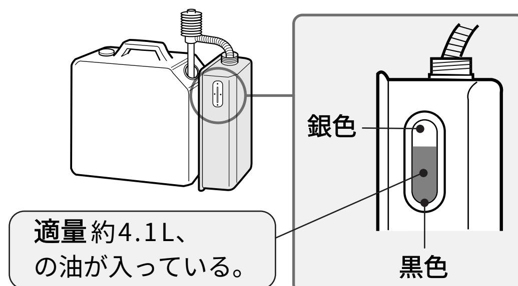
消火後すぐに給油するときは天板付近が熱くなっていますのでご注意ください。

3 給油口口金をはずす



4 給油する

油量計の銀色部分が8分目ぐらい黒くなるまで給油します。



適量 約4.1L、の油が入っている。

油が入ると銀色から黒色に変わります。

5 給油口口金を締める

こぼれた灯油は、よくふき取ってください。



ご注意

給油口口金は斜めに締めると、口金がはずれたり、ねじが傷んだりして、灯油が漏れて危険です。

お願い

- 初めてご使用になるときやしんを交換したとき、「しんのお手入れ」(から焼きクリーニング)の後は、しん上端に灯油が十分吸い上がるまで、10分以上待ってから点火してください。
- 吸い上げ不足で点火するといつまでも過小炎が続くことがあります。
  このときはいったん消火し、約10分待って再点火してください。

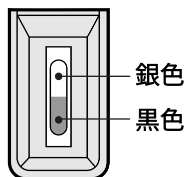
6 給油タンクをセットする

給油口口金を下側にして油漏れのないことを確かめ、ストーブに静かにセットしてください。

● 上面扉は必ず閉じてください。

■ 給油の目安

使用中に油量計の半分ぐらいが銀色になったら、給油してください。
あと約2時間半で、灯油がなくなります。



■ 給油時自動消火装置

燃焼中に給油タンクを持ち上げると、安全のため自動的に消火します。

● 給油タンクが確実に入っていないと、この装置が作動して点火できません。

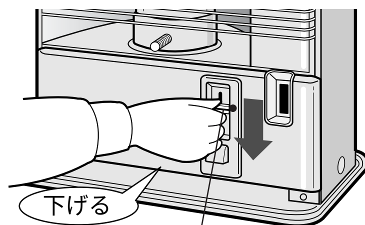
給油口口金部周辺や燃焼タンクが灯油で黄色に変色することがありますが、異常ではありません。

使用方法

点　火

1 しん調節つまみを止まるまで押し下げる

しんに火がついたことを確認してから、
ゆっくり手を離してください。



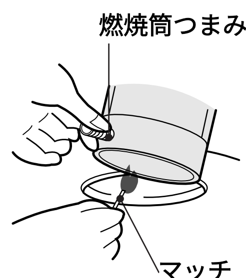
お願い

- 点火ヒータ付近から白煙が上がるだけで点火しない場合は、しん調節つまみをゆっくりと離したり、押し下げたりする動作を繰り返してください。
- 点火しない場合はヒータ位置を調整してください。14

● マッチ点火の場合（上記の方法で点火しない場合）

①しん調節つまみを押し下げて、しんを上げる。
②ガードの右側を持ち上げて下方手前に開く。
③燃焼筒つまみを持ち上げてマッチで点火する。
④ガードを閉じる。

- 点火が完了した後は、燃焼筒がしんの上にのり上げないように気をつけて戻してください。
- 点火後、燃焼筒のすわりが悪くないか、燃焼筒つまみを持って、左右に2～3回動かしてください。



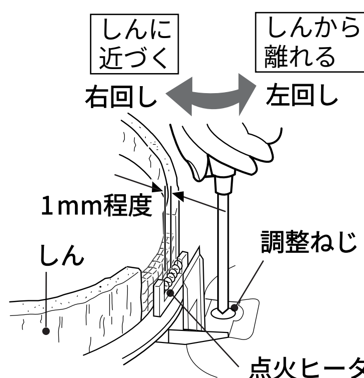
⚠ 警告　マッチやライター〕、およびマッチの燃えかすをしん付近や置台の上に置かない。火災や事故の原因になります。

点火ヒータ位置の調整のしかた　（しんに近づけすぎると、白煙が上がるだけで点火しません。また、点火ヒータのフィラメントを傷めます。）

1 乾電池を電池ケースからはずす。

2 ガードの右側を持ち上げて、下方を手前に開き、燃焼筒を取りはずす。(点火ヒータのフィラメントとヒータソケットの調整ねじが見えます）(右図参照)

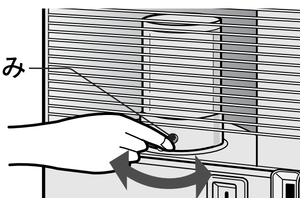
3 しん調整つまみを「点火位置」まで押し下げたまま、ヒータソケットの調整ねじをプラスドライバーで右図のように調整する。



ヒータソケットの調整ねじを回し、点火ヒータのフィラメントとしんとのすきまを1mm程度に合わせてください。

炎の調節 (燃焼筒の上に炎が伸びるとき)

1 燃焼筒つまみを持って、左右に2〜3回動かして調節する



「炎の状態の目安」のような正常炎にしてください。

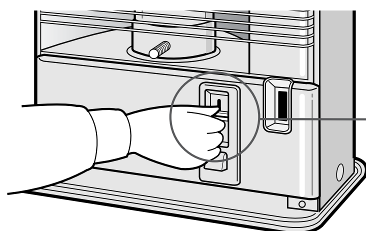
炎の状態の目安

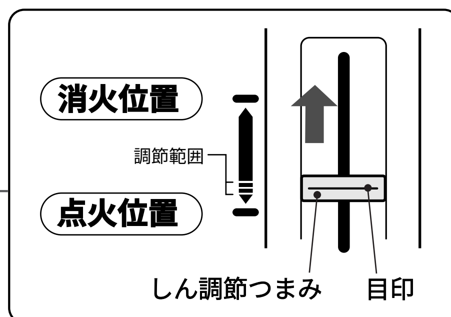
(しんが下がり過ぎ)	(正しい燃焼状態)	(しんが上がり過ぎ)
× 過小炎	○ 正常炎	× 過大炎

- 点火後約15分間は炎が安定しません。
- 燃焼筒の上2〜3cm の炎は異常ではありません。

● 燃焼筒つまみを左右に動かしても、炎が安定しないときは

しん調節つまみを動かして、正常炎に調節してください。





炎の調節は必ず表示の調節範囲内でおこなってください。

調節範囲を越えて、火力を極度に弱めると
- 一酸化炭素やにおいが発生します。
- しんに炭化物がたまり、しんの上げ下げが重くなります。

お願い

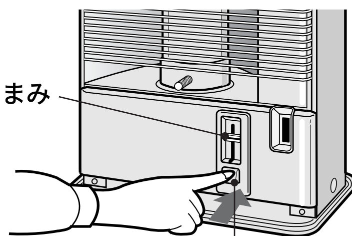
- 調節範囲の上端から下端に一度にしん調節つまみを押し下げると、一時的に炎が伸びて、過大炎になることがあります。上端から下端に調節する場合は、過大炎にならないように徐々に調節してください。
- 部屋が暑すぎるときは、窓の開閉などの換気で調節してください。

使用方法

消　火

1 消火ボタンを押す

- しん調節つまみが「消火位置」に戻り、消火します。
- しん調節つまみで消火するときは、しん調節つまみを「消火位置」まで引き上げてください。



2 消火していることを確認する

しん調節つまみが「消火位置」に戻り、火が消えたことを確認してください。

お願い

- しんの上端部に炭化物が多く付着したり、水分が含まれていると、消火ボタンを押しても、しん調節つまみが「消火位置」まで戻らないことがあります。
  このときはしんが下がりきっていないので、しん調節つまみを「消火位置」まで戻して消火してください。それでもしんが下がらない場合は、灯油をこぼさないように給油タンクを取り出し、火が消えるまで燃やしきってください。
- 給油タンクがからになった状態で消火操作をすると、消火時間が長くかかります。
  「しんのお手入れ」のとき以外は、からになる前に必ず給油してください。

吸臭装置

- この装置がはたらいている間、モータの回転音がしますが、異常ではありません。
  テレビ・ラジオなどの近くで使用すると雑音が入ることがあります。
- とくに点火後すぐに消火した場合や、室温が低い場合に、ストーブから白煙が出ることがありますが、異常ではありません。

消火後、再点火するときのご注意

消火後、すぐに再点火すると燃焼筒の温度が高くて着火しなかったり、においがしますので、燃焼筒が冷えるまで約5分間待ってから点火してください。

日常の点検・お手入れ

- 点検・お手入れは必ず消火していることを確認し、ストーブが冷えてからおこなってください。
- ストーブ、およびストーブの周辺はいつもきれいに掃除してください。
  汚れたままで使うと危険です。また、ストーブの寿命を縮めます。

危険防止のために次のことはやめてください。

感震部分	油量計	しん
対震自動消火装置の感震部分を調整したり、分解すること。	給油タンクの油量計のねじをゆるめたり、分解すること。	しんの先端を切ったり、取付位置を変えること。

	点検箇所	点検内容	処置方法
使用ごと	ストーブの周囲	ストーブの周囲や置台の上に可燃物や障害物がないか。	●可燃物や障害物を取り除く。2〜8
使用ごと	燃焼筒 (ガラス円筒)	ガラスの割れがないか。	●割れたガラス円筒は交換する。20
給油時	油漏れ 油のたまり	置台上に油のこぼれ、たまり、にじみがないか。給油中に油漏れがないか。	●こぼれている油やほこりを布できれいに拭き取る。 ●油漏れしている部品は交換する。20
給油時	給油口口金	油のにじみ、漏れがないか。	●油を拭き取り、確実に締める。 ●漏れが止まらないときは、部品を交換する。
1カ月に1〜2回	ストーブの内部	ほこりなどがたまっていないか。	●柔らかい布でほこりなどを拭き取る。
1カ月に1〜2回	対震自動消火装置	しんを上げて、置台を強く動かしたとき、しん調節つまみが「消火位置」に戻るか。	●目印が「消火位置」に戻らなければ対震自動消火装置、しん、しん外筒などを点検する。 対震自動消火装置に多量のほこりが付着したまま放置すると対震自動消火装置が正常に作動せず危険です。
1カ月に1〜2回	し　ん	しんの先端に炭化物が付着し、しんの上げ下げが重くなっていないか。 火つき、火まわりが悪くなっていないか。	●炭化物が付いているときは「しんのお手入れ」(から焼きクリーニング)をする。18 「しんのお手入れ」(から焼きクリーニング)をしても効果のないときは交換する。20 しんに多量の炭化物が付着したまま放置すると対震自動消火装置が正常に作動せず危険です。
1カ月に1〜2回	点火ヒータ	フィラメントの変形、断線の有無。	●変形の少ないときは、マッチ棒などで修正する。 ●変形、断線したものは交換する。20 フィラメントの形 ○ 良い × 悪い × 悪い
2カ月に1回	対震自動消火装置の感震部 (おもり、おもり受け)	ごみやほこりの付着がないか。	●ごみ、ほこりは、きれいに拭き取る。(対震自動消火装置は分解しないこと) おもり(感震部) おもり受け(感震部)

日常の点検・お手入れ

しんのお手入れ (から焼きクリーニング)

次のようなときは、しんの先端に炭化物が付着しているので、しんのお手入れ(から焼きクリーニング)をしてください。

- 消火時、消火ボタンを押してもしん調節つまみが「消火位置」に戻らない。
- しん調節つまみの動きが悪くなる。(しん上下操作が重い)
- 燃焼筒が赤熱しなかったり、燃焼中ににおいがする。
- 点火しにくくなる。

お手入れのしかた (から焼きクリーニング)

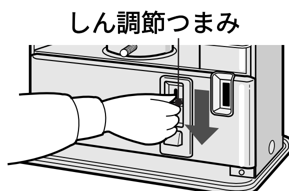
しんのお手入れは、風のあたらないところでおこなってください。風があたると赤火が出たり、異常燃焼の原因になり、危険です。
また、お手入れ中はにおいがしますので、換気をしてください。

1 給油タンクの灯油を抜き取り、再び給油タンクをセットする

給油タンクが確実に入っていないと点火できません。

2 点火する

しん調節つまみを一番下まで下げ、燃やしてください。



3 自然に火が消えるまで(約1時間)燃やしきる

途中で燃焼筒を持ち上げたり、しんを下げたりすると、炭化物は取れません。

お手入れの後、次のような場合、しんを取り替えてください。 20

- しんの先端が固くなっている。
- しんが片べりしている。
  (注意)…点火部は凹状になっています。
- 「しんのお手入れ」をしても効果がない。

お願い

変質灯油や、不純灯油を使用したり、タンク内に多量の水が入ったときは、しんを交換し、給油タンク、燃焼タンク、および保管容器の残油を良質の灯油と入れ替えてください。

ストーブお手入れ時のお願い

- 落ちにくい汚れは、中性洗剤をしみこませた柔らかい布で拭き取ってください。
  シンナーやベンジンなどは使わないでください。
- 天板に化繊などのほこりが焼き付き汚れたときは、柔らかい布にクレンザーを付けて拭き取ってください。長時間拭かずにほっておくと取れないことがあります。
  天板以外の上面扉や本体の表面は傷が付きますので、クレンザーで拭かないでください。
- とくに置台や、燃焼筒の周囲はほこりがたまりやすいので、こまめに掃除してください。
  また、点火ヒータの周辺を掃除するときは、点火ヒータのフィラメントを傷めないように注意してください。

修理を依頼される前に

下記の処置方法により処置しても良くならない場合には、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご相談ください。22～23

(影響の大きい該当項目 ● 影響の小さい該当項目 ○)

現象→ 原因↓	点火しない・しにくい	着火後すぐ消える	炎が大きくならない	赤火やすすが出る	消火しない	においがする	炎がかたよる	しんが上下しない	燃焼筒が赤熱しない	しん上下操作が重い	火のまわりが遅い	処置方法	参照するページ
乾電池が正しく入っていない。消耗している	●											⊕⊖を正しく入れる 乾電池を取り替える	10
点火ヒータの変形、断線	●											点火ヒータを交換する	20
点火ヒータの位置が悪い	●											正しく調整する	14
灯油の不足	○	●	●			○			●		○	給油する	12･13
水が入っている	●	●	●			○	○	○	●	●	●	タンクをからにして、しんを交換する	10･11･20
変質灯油(持ち越し灯油)･不純灯油が入っている	●	●	●	○	○	●		●	●	●	●	良質灯油と入れ替える しんを交換する	10･11･20
風の吹く所での使用				●		●	●		○			風の吹かない所で使用する	6･7
長時間閉めきった部屋での使用			○			○						1時間に1～2回換気する	3
しんに炭化物が付いている	●	○	●		○	○		●	●	●	●	「しんのお手入れ」(から焼きクリーニング)をする	18
しんの下げすぎ		○	●		●	●			●		○	しんを上げて炎を調節する	15
しんの上げすぎ				●		●	○					しんを下げて炎を調節する	15
しんが十分油を吸っていない	●	○	●			○			●		○	給油してから10分以上待って点火する	12
しん外筒がかたよって取り付けられている					○	○	●	●		●		しんが上下するすきまが全周均一になるようしん外筒を取り付ける	—
しん上下機構が故障している		●			●			●		○		すぐに修理を依頼する	—
燃焼筒のすわりが悪い				●		●	●					燃焼筒を左右に2～3回動かしてすわりをよくする	15
ガソリン・シンナー類が入っている				○	●	○	○					灯油に入れ替える、しんを交換する	10･11･20
給油タンクがセットされていない	●	●										給油タンクを正しくセットする	13

燃焼中や消火後、「ポコポコ」という音がしますが、これは給油タンクから燃焼タンクへ灯油が流れるときの音で、異常ではありません。

対震自動消火装置

この装置は、地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けたとき作動して、自動的にしんを下げて消火します。
装置が作動したときは、周辺の可燃物、ストーブの損傷、油のあふれなど異常がないことを確認した後、再点火してください。

部品交換のしかた

交換部品は、ストーブをお買いあげの販売店でお求めください。
必ず当社指定の部品をお使いください。

●替しん…W-266B ●替ヒータ…H-105 ●燃焼筒(ガラス円筒)…HSR-30L専用

不完全な修理は危険です。修理は専門の技術者[(財)日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる販売店に依頼してください。

●製品の改造などは絶対にしないでください。

しんの交換

● しんは必ずＪＩＳ 適合検査合格品またはJHIA認証合格品の「シャープ石油ストーブ用替しんＷ－２６６Ｂ」(右のどちらかのマークが付)を、お使いください。
マークは白地に赤の色彩で表示されています。



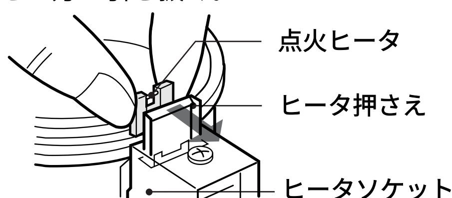


● しんの交換は、お買いあげの販売店に依頼してください。

点火ヒータの交換

1 ガードの右側を持ち上げ、下方手前に開き燃焼筒をはずす。

2 ヒータ押さえを矢印方向に引き、点火ヒータを上方に引き抜く。



3 ヒータ押さえを矢印方向に引いたまま、ヒータ電極線を外側にし、点火ヒータをしん側に少し倒してヒータソケットに差し込み、確実に取り付ける。
● 替ヒータには、フィラメント保護のために樹脂製のキャップがかぶせてあります。フィラメントが変形しないように注意し、取り付けた後でキャップをはずしてください。

4 ヒータ押さえを点火ヒータにあたるまで確実に戻す。
● ヒータ押さえを確実に戻さないと点火ヒータを傷めます。

5 燃焼筒をもとどおりにセットする。10

6 新しい点火ヒータでの点火の確認をする。点火が悪いときは「点火ヒータ位置の調整」をする。14

ご注意

● 傷んだ点火ヒータは新しい点火ヒータに交換するまで、ヒータソケットに差し込んだままにしてください。点火ヒータをはずしたまま使用しないでください。

ガラス円筒の交換

燃焼筒のガラスが割れた場合は、お買いあげの販売店にご相談のうえ新しいものと取り替えてください。

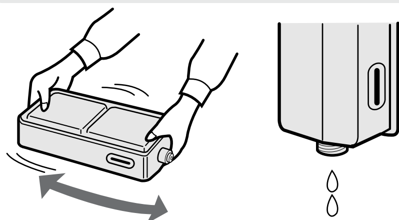
保 管(長期間使わないとき)

1 給油タンクの油を抜き取る

給油タンクを取り出し、残油をよくふって内部を洗ってから、給油口口金をはずし、給油口を下にして残油を完全に抜いてください。

お願い

残油に水分が入っていることがあり、タンク内がさびる恐れがあります。
残油は完全に抜き、さらに内部をよく乾燥させてください。



2 しんのお手入れをする (から焼きクリーニング)

部屋の窓を開けて換気しながら、「しんのお手入れ」(から焼きクリーニング) をしてください。 18

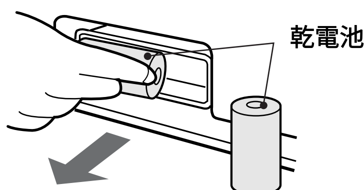
3 乾電池を取りはずす

⚠ 注意

長期間使わないときや故障したとき、転居などで運搬するさいは、必ずストーブから取りはずす。

火災の原因になります。

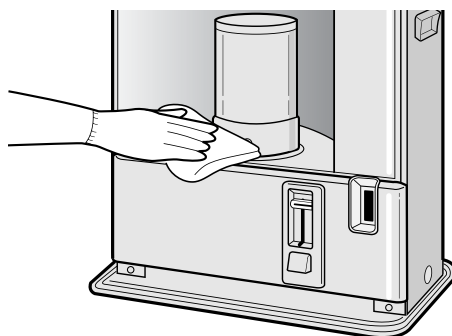
また、液漏れしてストーブを腐食させることがあります。



4 清掃をする

本体・天板・反射板・置台などのごみやほこりを柔らかい布で拭き取ってください。

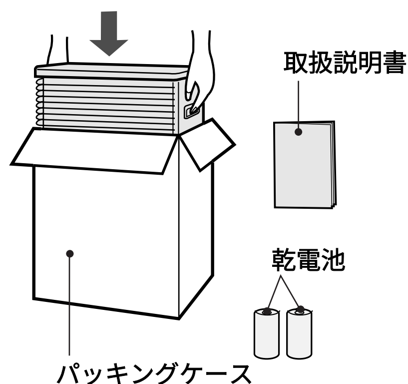
● なお清掃のときは手袋をしてください。



5 保管する

①各部品の点検をし、悪いところは修理しておいてください。
②取扱説明書とともにパッキングケースに納め、風通しのよい所に保管してください。

傾けたり横倒しの状態では保管しないでください。



保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは 出張修理

1 「修理を依頼される前に」19を調べてください。

2 それでも異常があるときは使用をやめてください。

3 お買いあげの販売店に次のことをお知らせください。

- 品名：石油ストーブ
- 型名：(保証書に記載の型名)
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状態 (具体的に)
- ご住所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

保証書(別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。
ただし、次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象となりませんので、ご注意ください。

- 変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料を使用したために、故障や事故になった場合。
- その他、取扱説明書に記載されている注意事項が守られず、誤った使いかたをされた場合。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、石油ストーブの補修用性能部品を製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

●製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **シャープ修理相談センター** へ
●製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は……… **シャープお客様相談センター** へ

シャープ修理相談センター

●**修理相談センター** (沖縄・奄美地区を除く)
■受付時間 ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時 ＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)



0570-02-4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		〈東日本地区〉	〈西日本地区〉
●携帯電話／PHSでのご利用は……	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
●FAXを送信される場合は…………	(FAX)	043-299-3865	06-6792-3221

●**沖縄・奄美地区**については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **「持込修理」**および**「部品購入」**のご相談 は、上記**「修理相談センター」**のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間 ＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)
〔ただし、沖縄・奄美地区〕は…＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	埼玉 サービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京 テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜 サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡 サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪 テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

シャープお客様相談センター

■受付時間 ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時 ＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(0204)

保証とアフターサービス

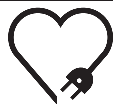
定期点検(定期点検のおすすめ)

製品の寿命をより長くより良い燃焼で快適にお使いいただくため、2年に1回程度シーズン終了後などに、お買いあげの販売店、修理資格者[(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。サービスマンが点検いたします。点検の結果、万一具合の悪い部分がありましたときは、お客様とご相談のうえ交換修理させていただきます。22～23

仕様

型式の呼び(型名)		HSR-30L
種類		しん式・放射形
点火方式		電池点火
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)
燃料消費量		0.315 L/h
暖房出力		3.02kW (2,600 kcal/h)
油タンク容量		4.1 L
燃焼継続時間		約13時間
標準適室	木造	13.0m^2 (8畳)まで
	コンクリート	18.5m^2 (11畳)まで
外形寸法(置台を含む)	高さ	503 mm
	幅	435 mm
	奥行	298 mm
質量		7.8 kg (油満量時11.1 kg)
しん	種類	普通補強金具付筒しん
	呼び寸法	内径75 mm 厚さ2.5 mm
安全装置		対震自動消火装置
その他の装置		給油時自動消火装置
付属品		●取扱説明書 ●保証書

長年ご使用の石油ストーブの点検を!



こんな症状はありませんか?

- 油漏れがある。
- 強いニオイやススが出る。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 消火操作しても火が消えない。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故の防止のため、使用を中止し、必ず販売店にご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店に、ご相談ください。

● 製品についてのお問い合わせは…
シャープお客様相談センター
東日本相談室 TEL 043-297-4649 FAX 043-299-8280
西日本相談室 TEL 06-6621-4649 FAX 06-6792-5993
《受付時間》月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

● 修理のご相談は… 23ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

● シャープホームページ http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社
本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電化システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

この取扱説明書は，環境にやさしい再生紙および、大豆油インキを使用しています。 PRINTED WITH SOY INK

TINSJA148ADEZ 02GO ①